



2012年
9月15日
No.911

全国一般石川地方
労働組合 教宣部

金沢市駅西本町3-13-5
Tel 076 (262) 0724

発行人 久田友恒

九月二十三日(日)九時開場 地場産センター
地本第84回定期大会

この大会で、本年度の地本運動をふりかえり、秋年末闘争・一三春闘・脱原発・組織拡大の方針を確立しよう!

全国一般運動の前進と

組織拡大に向けて

地本第84回定期大会を

成功させよう!

来る九月二十三日(日)、地本第八十四回定期大会が開催されます。この一年をふりかえり、新たな執行体制と方針を全体の力で確立していきましょう。



危機に立つ雇用、生活、権利そして平和・環境

私たちをとりまく情勢は厳しいと言わざるをえません



「6・10さよなら志賀原発」集会後、デモ行進する地本の仲間(金沢・香林坊周辺)

上。上がらない賃金・一時金。生活は苦しくなる一方です。二〇一二春闘は、リストラが嵐のように吹き荒れる中で闘いでした。要求さえ出せない、出しても賃上げなしの職場も少なくありません。

また東日本大震災から一年半が経過しましたが、働く者にとつての復旧復興はまだ遠く、東電・福島原発の事故は収束の目途も立っていません。

苦闘を共有し、団結を深め、闘った一年

こうした中で、私たちは団結と連帯を深めながら闘いぬいてきました。争議職場の仲間思いをさせて支援に取り組んできました。賃金カットを受けている仲間の苦闘を共有し、論議を深めてきました。原発災害に苦しむ福島の間や、オスプレイ配備の恐怖を強いられる沖縄の仲間と連帯して、脱原発や平和の闘いを

推進してきました。

今こそ組織拡大を! 未組織の仲間の結集を!

しかし課題はなお山積しています。解決のためには、この一年の闘いを教訓にして、さらに団結を深め、支援と交流を強め、学習を重ねて、私たち自身が強くならなければなりません。同時に、ともに闘う仲間を拡大し、私たちの全国一般運動をさらに大きなものとしてつくる必要があります。組合の組織率はここ数年小ではわずかに1%にすぎません。大多数の未組織労働者がもの言えぬ状態になおかれています。



小雪が舞う中、未組織労働者に組合加入を訴えるため、各職場の仲間がピラマキ街宣(2月)

一人一人がオルガナイザー(組合を作る人)の気持ちをもって、地本・職場で組織拡大に向けて出来ることをひとつひとつ積み重ねていきましょう。

代議員・傍聴者の

結集と活発な論議を 実現しよう!

地本定期大会に向けて、すでに職場に運動方針案を配布しています。各職場で

ぜひ検討をし、大会当日には、質問、意見、要望を出してください。各職場での報告や、今後一年間の活動への積極的な提案を出し合って、闘う方針を確立していきましょう。

職場と雇用、生活と権利、平和と民主主義を守り発展させるために、新たな仲間、結集を実現するために、地本定期大会に多数参加し、ともに大会を成功させていきましょう。

全国一般第八回定期総会(東京)

未組織の組織化・全国一般の組織拡大めぐって活発に討論

―門前サンケン・下野支部長が 石川を代表し争議報告―

八月二十六・二十七日、東京都内のホテルで全国一般評議会第八回定期総会が開催されました。

全国の地方労組、業種別部会などから百十三名が参加し、石川は評議会役員である種井事務局長ら二名、代議員として久田委員長ら四名が出席しました。

冒頭、主催者を代表して挨拶に立った大浦議長は「厳しい状況が続く賃金闘争だが、当面する年末一時金は額・月数ともに前年を上回るよう頑張ろう。各地で統発する争議を全国の仲間と支援しあい勝利しよう。全国一般と自治労との組織統合に係る諸課題は、公共民間評議会は自治労各級組織との連携を強化し、解決まで一丸となって進もう」と呼びかけました。

自治労協力国会議員の相原久美子参議院議員からの

議会第8回定期総会

組織化に全組合員が取り組み 安心・安全な社会を構築しよう!



職場の仲間の怒り・思いを訴えた下野支部長

二日目の議事で、現在争議を闘っている八つの地方労組(岩手・石川・大阪・兵庫・岡山・愛媛・福岡・長崎)からの報告が行われました。

石川は、特別代議員として参加した門前サンケン支部の下野支部長が登壇しました。下野支部長は「工場閉鎖により毎日長距離・長時間通勤を強いられる苦しい状況だが、一歩一歩団結

私たち石川労組も、全国の仲間と連帯し、中小・非正規雇用労働者の組織化に取り組み全国一般合同労組運動を前進させるため奮闘しよう!



門前サンケン支部闘争

県労委・中労委で 支部の仲間が証言!

八月二十八日、中央労働委員会(東京)で、親会社サンケン電気による団交拒否事件の第一回審問が行なわれました。

地本からは、前日までの評議会総会(別掲記事)に出席した仲間がそのまま審問に参加したほか、門前サンケン支部の山崎書記次長が傍聴。評議会から亀崎事務局長が補佐人として、吉田博充幹事も傍聴に駆けつけてくれました。

記次長が証言にたち、二〇〇九年当時、サンケン電気が〇九中期計画目標をグループ子会社に説明した資料を証拠に、サンケン電気が門前工場製品「撤退」を決定し、親会社に一〇〇%依存する製造工場である門前工場を閉鎖させた事実を集中的に浮き彫りにしました。

く、傍聴した仲間は憤りを抑えられない様子でした。九月十三日には、石川県労働委員会、会社(石川サンケン)が組合員の脱退をそのかした事件の第三回審問も行なわれました。門前サンケン支部のほか、地本の多くの職場の仲間が傍聴してくれました。

部書記次長、尾崎書記次長が証言し、柳澤副社長(当時)が組合を憎悪し弱体化のために脱退をそのかした経過を証言しました。

だが、組合が指摘している不自然な点について会社の説明はツジツマが合っていない。次回、十月十六日に県労委結審、十一月二日に中労委調査の予定です。会社の不当労働行為を許さず粘り強く闘う門前サンケン支部の仲間を地本全体で支えていきましょう。

東洋大学・渡辺教授が講演

誰が見ても活断層、 典型的な活断層だ!

変動地形学の専門家である渡辺教授の講演会が八月三十一日、地場産業センターにおいて約二五〇名の参加の下に開催されました。

原発再稼働を正当化するための出鱈目な対応を許さず、脱原発の闘いを強化しよう。



変動地形学の観点から、志賀原発の危険性を分析。政府や北電経営者のごまかしが浮き彫りに。

志賀原発を廃炉へ!

社民党スクール2012で 又市副党首が講演

八月十一日、地場産業センターで社民党スクール2012が開催されました。

明らかにされました。第二部では映画「内部被ばくを生き抜く」(鎌仲ひとみ監督)が上映されました。

又市さんは、自民・公明にすりより野田内閣が消費税増税を強行したことを強く口調で批判。大飯原発三・四号機の再稼働の強行についても抗議し、「一貫して『脱原発』を主張してきた唯一の政党として、社民党が全原発の停止を求める決意を

明らかにされました。第二部では映画「内部被ばくを生き抜く」(鎌仲ひとみ監督)が上映されました。この中では四人の医師が広島・チェルノブイリ・イラク戦争・福島での放射能被害の実態を語り、改めて原爆II原発としての視点で考えることが提起されました。

「志賀原発の真下に活断層」があることがマスコミで問題にされてから大騒ぎになり、八月二十八日には突然、「断層があっても原発運転が可能」という、驚くべき安全評価の新基準が打ち出されています。このような政府・保安院による



八月十八日(土)富山城址公園において、志賀原発

北電本社へむけて 総行動!

志賀原発再稼働を許すな! 富山集会

の再稼働を許すな! 集会が石川・福井からの参加を含め、約七五〇名の結集で開催され、地本からも四人が代表で参加しました。

真夏のうだるような熱気の中で集会は「志賀原発の再稼働反対! 放射能から子供達を守ろう」のアピールを採択し、大飯原発再稼働に対する抗議と三隊に分かれて北電電力本社までプラカードをもってデモ行進をしました。

困った!? どうしよう?

くらし・労働・困りごと 何でも法律相談

石川県社会法律センターは、県下労働組合、民主団体の支えのもと、これに答える有志弁護士によって構成され、創立以来30年を経過しました。この間、2,289件に及び相談を受け付け、問題の解決をはかってきました。

今、世界はアメリカ発の金融危機と世界同時不況によって、くらしも雇用もめっちゃくちゃに破壊され、生活不安、社会不安は日に日に増加の一途です。この状況につけ込む悪質な事件も後をたちません。

組合員をはじめ家族の皆さんの困りごと法律相談。くらし・労働・困りごと全般にわたって、弁護士が相談に応じます。また、改憲の動きや労働関係法規の改悪など、労働組合などが開催する「学習会」での講師の依頼にも応えます。是非ご一報下さい。

相談料
無料

秘密
厳守

下記の弁護士が法律相談に応じます。但し、弁護士の指名はできません。

《弁護士一覧》

- 北尾強也・高澤邦俊・堀口康純・岩淵正明・今井 寛
- 富山美智子・奥村 回・川本越石・橋本明夫・押野 毅
- 出口 勲・中田博繁・長井竜也・北尾美帆

石川県社会法律センター

金沢市大手町9番29号 法律センタービル 4F

TEL 076 (231) 2110

電話受付 平日 9:00~18:00
土曜 9:00~12:00

事務局長 岩淵正明
事務局 高 原 まで